

第4回 富里市基本構想審議会 議事録

日時：令和4年1月31日（月）

時間：午前13時30分

場所：富里市中央公民館4階大会議室

出席者

関谷 昇	千葉大学 教授（会長）
篠原 眞司	富里市都市計画審議会 会長（副会長）
寒郡 茂樹	富里市商工会 会長
根本 実	富里市農業協同組合 組合長
森田 修仁	富里市観光協会 会長
高山 茂久	富里市区長会 会長
宮川 朱実	社会福祉協議会 会長
森田 恵子	富里市教育委員会 教育長職務代理者
河合 俊彦	千葉交通株式会社 取締役自動車部長
山縣 俊明	公募委員

欠席者

秋葉 政則	富里市消防委員会 副委員長
石川 賢治	富里市スポーツ協会 副会長
龍岡 穂積	富里市医師連絡協議会 会長
丹 さく子	富里市地区保健推進員協議会 会長
村井 香織	公募委員

○関谷会長あいさつ

新型コロナウイルス感染症も収束の兆しがなかなか見えない中、これからどうコロナと向き合って、まちづくりとして何をやっていくのが重要。今日は諮問ということだが、答申に向けて今後計画をどう動かしていくのか議論していきたい。

○議題

（１）協議事項

①基本構想（素案）の諮問について

【事務局より、基本構想（素案）の修正内容を説明し、諮問を行った。】

修正内容については意見なし。素案の内容にて承認された。

会長：本日の諮問に対し、基本構想の実現に向けて答申していくことになる。それについての意見はないか
これまでの議論を踏まえると、成田空港の機能強化や、計画の進捗管理・評価が重要になってくる。
そうした視点を答申に盛り込んでいくことになると思う。

委員：観光資源として、市は岩崎別邸に力を入れているが、牧羊場跡も重要な資源である。富里に農業を広げたのは岩崎家だが、富里は牧羊の発祥の地であることも押し出していったらどうか。

事務局：市としては牧羊場跡もちろん重要な資源と考えています。まずは岩崎別邸を拠点として、市内の資源につなげていきたい。

副会長：計画が完成したら、職員に1冊ずつ渡して、市の方向性を共有して意欲を持ってやっていただきたい。

事務局：市長からも、職員間で情報共有だけでなく、政策共有もするようにと日々叱咤激励を受けています。職員の意識向上を図り、連携をとっていきたい。

委員：日本のにんじん栽培の発祥が富里だということも市民は知らない。行政にも認識いただき、市として広く伝えていくことも重要ではないか。

事務局：富里の多様な魅力の発信には、現在取り組んでいるところですが、富里独自の歴史もとらえながら発信していきたい。

委員：先ほどの政策共有の話だが、総合計画は現状として職員に浸透していないのか。

副会長：私の在職時には、自分の課のこと以外に関心を持たない空気があった。もちろん各部署は一生懸命やっているのだが、協力体制がもう少しあるといいと思い意見した。

委員：新型コロナウイルス感染症の対応の中で、市内のホテルが待機宿泊施設になっていると聞いたが、市と国・県の連携はどうなっているのか。また地域にどのように発信しているのか。成田空港隣接都市として、今後も同様のリスクがあることと思う。

事務局：市内ホテルを指定したのは国によるものであり、今後連携を図りながら、地域への発信のあり方を検討していきたい。

委員：連携が重要という話だが、教育委員会では保健や子育て支援の関係課の力を借りて、プランを立てており、連携をとって進めているものもある。今後、この計画をローリングしていく際にも、横断的にやっていくことが重要と思う。

事務局：ご指摘のように、連携をとって進めている取組もあり、昔よりも横断連携はずっととれていると思っています。計画を進めていくにあたり、今後さらに連携を進めていきます。

委員：基本計画のP.91に「英語教育の推進」とあるが、多言語化の現状もあり「外国語教育の推進」としてはどうか。また、成田空港の機能強化は富里にとっていい機会であり、単に定住人口を増やすというだけでなく、観光で市内に来る人や市外から働きに来る人などを積極的に取り込んでいくことを目指し、目標人口はもっと高く設定することも考えられるのではないか。

事務局：人口ビジョンも重要と考えていますが、しっかりと施策を推進していくことが重要と考えています。社会情勢もとらえながら、計画を推進していきます。

（２）報告事項

①前期基本計画（素案）パブリックコメントの結果について

【事務局より意見は寄せられなかったことを報告した。前期基本計画（素案）の修正内容を説明した。】

②今後のスケジュールについて

【事務局より今後のスケジュールについて説明】

〔終了〕